

(6月24日) : 大型株の上昇でVN指数も上昇

ホーチミン取引所のVN指数は960ポイントを超えて推移した。ベトコムバンク (VCB)、ビンググループ (VIC)、ビンホームズ (VHM) などの大型株に買いが集まったおかげであった。

しかしながら、965ポイント付近に近づくと売り圧力が高まる様子だった。

VN指数は3.65ポイント(0.38%)上昇し、962.85ポイントで取引を終えた。115銘柄の上昇に対して166銘柄が下落した。

出来高は1億5030万株で売買代金は3.39兆ドンとなった。先週末に比べて27%、37.8%下落した。相対取引は36.82%を占め、代金にして8436億ドンであった。エクシムバンク (EIB) が出来高が1031万株で売買代金は1763億ドン、タインタインコンタイニン製糖 (SBT) は出来高が527万株、売買代金にして948億ドンであった。

大型株の中で、VCB、VHM、VICはそれぞれ2.82% (終値73,000ドン)、1.66% (終値79,500ドン)、1.27% (終値116,400ドン) ほど上昇した。

その他の大型株でも、マッサングループ (MSN)、ビンコムリテール (VRE)、テクコムバンク (TCB) などが1%ほど上昇した。

一方、ビナミルク (VNM) は1.91%ほど下落し、123,100ドンで取引を終えた。VNMは市場の上昇を妨げる銘柄の筆頭だった。

多くのペトロベトナムガス (GAS) やペトロリメックス (PLX) などの石油関連銘柄も1-1.1%ほど下落した。

FLCファロス建設 (ROS) は30000ドンで取引を終えたが、出来高が1156万株でトップだった。

ハノイ取引所のHNX指数は0.07%下落し、104.78ポイントで取引を終えた。多くの大型株が売り圧力を受けた。

出来高は2133万株で、売買代金は2616億ドンであった。出来高で1.57%、売買代金で17.7%ほど下落した。

相対取引は360万株で売買代金にして558.5億ドンであった。オーシャンホスピタリティ (OCH) は出来高が246万株で売買代金が172億ドンほどであった。ビコストーン (VCS) は出来高が35万株ほどで売買代金が221.9億ドンであった。

時価総額上位銘柄の中では、ドゥックザン洗濯用洗剤化学品 (DGC) が0.71%上昇し、28,200ドンで取引を終えた。その他の多くの銘柄は下落した。

流動性は少なく、5銘柄だけが出来高で100万株を超えたに過ぎなかった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。